



# DPC医療機関群Ⅱ群の適用

4月からDPC制度（DPC/PDPS）の見直しが行われDPC病院がⅠ群・Ⅱ群・Ⅲ群の3つのグループに分類されました。当院は医療機関群Ⅱ群の適用となります。

なお、県内のⅠ群病院は岐阜大学病院、Ⅱ群病院は当センターと、大垣市民病院のみです。

## DPC対象病院の分類

- Ⅰ群・・・大学病院本院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 全国 80 病院
- Ⅱ群・・・大学病院本院に準じた診療機能を有する病院 全国 90 病院
- Ⅲ群・・・その他の急性期病院群・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 全国 1335 病院

# 病院機能評価機構の認定更新（Version6）

病院職員全員が一丸となって取り組んだ病院機能評価の認定が更新されました。7名のサーベイヤーの先生方の3日間の訪問審査とそれに先立って提出した書類審査の結果、2012年3月18日から5年間の再認定をいただきました。

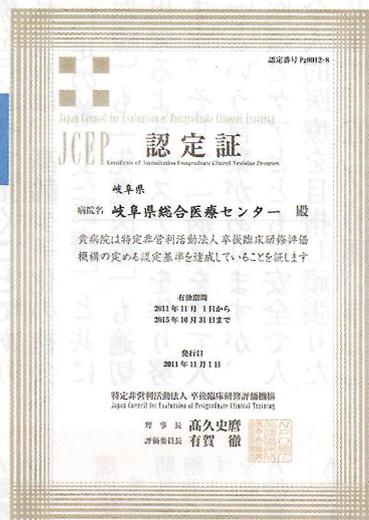
- ①7つのセンターを中心とした安全で安心な医療の提供。
  - ②各種の患者サービスの提供。
  - ③医療の質を向上させる全職員の研修。
  - ④医師、看護師、専門技師などの連携によるチーム医療の推進。
  - ⑤地域医療への貢献。
  - ⑥地震や大規模災害へ対応できる体制作りや地球環境への配慮。
  - ⑦これらを実践するための組織作りと管理体制。
- 以上のような審査項目で高い評価を得ることができました。今後も患者さん中心の質の高い医療を提供できるよう職員一同日々努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



# 卒後臨床研修評価機構の認定更新

2007年11月の全国で12番目となる卒後臨床研修評価機構の認定から4年が経過し、認定の更新のための訪問審査及び事前の書類審査の結果により、2011年11月1日付けで再認定をいただきました。これは、当センターが豊富な症例をもとに研修医にとって満足度の高い臨床研修を行っていることが高く評価されたものです。

なお、当センターでは、基幹型臨床研修病院として実力のある医師の育成に努めており、研修医が診療にあたることもあります。その際には必ず上級医によるバックアップ体制を敷いています。



標準のスピードで運行していますが、停止する階が多いと待ち時間が長くなる時もあります。ご理解いただきますよう、お願いいたします。



回答

三基あるエレベータの待ち時間が少し長いように思っています。



ご意見

ラジオにつきましては、建物の構造上、電波が届きにくくなっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。テレビにつきましては、更新時期が来ましたら取り替えてさせていただきます。



回答

ラジオのAM放送が聴けない。TV画面が古い。



ご意見

現在個室は4床で、内2床は重症個室となっております。重症患者・感染症患者・呼吸器を装着している患者さん等が優先的に利用することがほとんどです。個室に空床があれば、ご希望の方には入っていただくと良いのですが、状況に応じて対処させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、宜しくご協力の程お願いいたします。



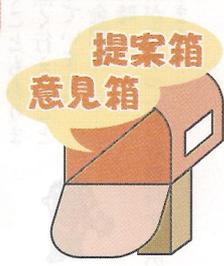
回答

小児科の個室が、いつも満室で希望しているのに入れない。なぜ個室が2部屋しかないのですか。



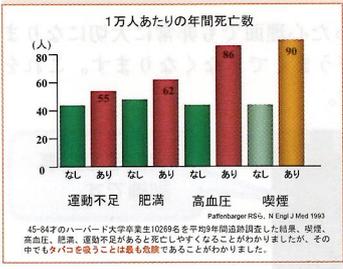
ご意見

岐阜県総合医療センターでは、皆様のご意見、ご提案を参考によりよい病院運営に努めて参ります。

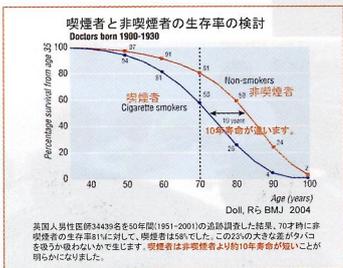


# 禁煙外来って何？

これまで、どうしてもタバコをやめられなかったあなたへ  
あなたも禁煙に挑戦してみませんか



70種類を超える発がん物質をはじめ、ニコチン、一酸化炭素などの200種類以上の有害物質を含むタバコの煙。タバコの煙は喫煙者のがん、心臓病、脳卒中、呼吸器疾患、糖尿病、歯周病、妊娠出産の異常など明らかに重大な健康障害を引き起こすだけでなく、吸わない周りの人の健康にも大きな害を与えます。「禁煙できるならしたい。」と思ったことは1度ならずあるのではないのでしょうか。でも、やってみるとうまくいかない人も多いと思います。なかなかタバコをやめられない人の多くは、「ニコチン依存症」の状態になっています。急にタバコを断とうとしても、イライラ・集中困難・疲労感などの耐え難い症状（離脱症状）に悩まされ、ついまたタバコに手が伸びてしまいます。つまり、喫煙するのは「好きだから、嗜好品だから」ではなくて「喫煙病（ニコチン依存症+喫煙関連疾患）」だからなのです。



禁煙外来では薬を使ってこのつらい離脱症状を緩和し、禁煙を上手に成功できるよう専門の医師と看護師のサポートを受けていただきます。禁煙補助薬は3種類。ニコチンを含む「パッチ（貼り薬、処方薬）」と「ガム製剤（市販薬）」、もう一つはニコチンを含まない飲み薬です。「魔法の薬」ではありませんが、医学的に禁煙成功率が上がる事が証明された薬です。

日本のタバコの警告表示  
「健康被害を減らすために」  
「あなたの健康を守るために」  
「禁煙外来」  
「禁煙外来」  
「禁煙外来」

フラジール（安・中）、リゾリン（安）のタバコの警告表示  
「あなたの健康を守るために」  
「禁煙外来」  
「禁煙外来」  
「禁煙外来」

当センターでは、禁煙治療を保険診療で行っています。病気の治療・予防の基本はまず禁煙からという考えが大切です。早く禁煙すればするほど良いのは間違いありませんが、何歳であっても、ヘビースモーカーであっても、健康を書していても、禁煙すれば喫煙関連疾患のリスクを減らすことができます。自分だけでなく、受動喫煙の害から家族、同僚を守ることができます。タバコに縛られない生活をしてみませんか。



- <禁煙治療が保険適用される患者さんの条件（厚生労働省）>
- ①直ちに禁煙したい喫煙者
  - ②ニコチン依存症と診断される
  - ③喫煙本数×喫煙年数が200以上
  - ④12週間にわたる禁煙治療を合計5回は受けることを文書で同意

禁煙外来（循環器内科）  
毎週水曜日午後2時から（予約制）  
電話にて予約可能です。（☎058-264-1111、禁煙外来予約）

## 総合リハビリテーションセンターの紹介



総合リハビリテーションセンターでは、入院早期からリハビリテーションを開始し、入院中の合併症予防、退院に向けて基本動作、ADL（日常生活活動動作）の改善を目指して行っています。平成24年度6月より早期からの途切れの無い集中的なリハビリテーションを充実させるべく、週末（土・日曜日）のリハビリテーションを開始いたしました。

又、外来においては外来心臓リハビリテーションを実施しています。心疾患患者様に対して、運動療法だけでなく心疾患の医学的評価や管理栄養士による栄養指導も加え、体力の向上、冠危険因子の是正、再発予防を目的として行っています。

## 外来薬剤センターの紹介



当院では外来薬剤センターを設置しました。そこでは、薬剤師が入院予定の患者さんに面談して、今かかられているお医者さん、または、薬局をお聞きしています。それは、これらの先生方から現在治療中のお薬などの内容を知らせていただき、その情報から飲み合わせの防止など入院中の治療に影響がないようにするため、あらかじめ調べておくことにより、薬剤師のほか医師・看護師など医療スタッフがお薬の情報を共有できるので、より安全に入院治療が受けいただけます。



# 看護部からの お知らせ

看護の現場では、高度化・専門化が進む医療現場において、看護の質の向上を目指して専門看護師、認定看護師等の資格認定制度が設けられています。  
当医療センターには、2名の専門看護師と11名の認定看護師が在職して、看護の質の向上を目指し日々努力しています。  
今回は、「摂食・嚥下障害看護認定看護師」の取り組みを紹介します。

## 食べる事への支援

人間にとって「食べる」ことはとても重要なことです。栄養源となるだけでなく、楽しみや生きがいといった心理面でも非常に大切になります。しかし、高齢になると筋力や反射の低下、また脳梗塞や喉や舌のがんでは咬んで飲みこむという働きがうまくできなくなります。これを「摂食・嚥下障害」といいます。当院では**食べるためのリハビリテーション**を入院後早期より実施しています。

### ●入院中のリハビリテーション

- 訓練の前に確認すること
  - ・食事時のむせ、声の変化などを確認します。
  - ・水分やゼリーを使用し、咬むこと・飲み込むことを確認します。
  - ・喉のところに食べ物がいないか聴診器で確認します。
  - ・必要時、嚥下内視鏡検査やレントゲン撮影を実施します。
- 口腔ケアの実施
  - ・おいしく安全（水分や食べ物が気管内に入らない）に食べることができるように、毎日、毎回口腔ケアを実施していきます。
- 食べるための訓練
  - ・口を開ける、舌を動かす、飲み込みをスムーズに行うなどの運動を行います。
  - ・実際に食べ物を食べて飲みこむ練習です。姿勢や食べ物の形を患者さんの飲みこみの状態に合わせて調整していきます。



病棟での食事訓練です。



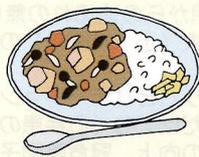
外来での訓練の様子です。

患者さんの“その人らしさ”が少しでも取り戻せるように、「食べること」の意味を考え、“一口でも”食べられる喜びや楽しみを共有し、支援できるように努力していきたいと思ひます。

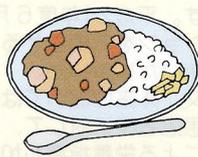
### 寄付

平成24年1月から2月にかけて、患者さんから文庫本の寄贈、患者さんのご家族から2件と企業様から1件の寄付金を頂きました。大切に使用させていただきます。

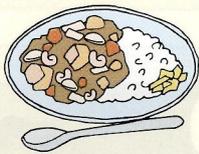
- ① 噛みごたえのある食材を使う
  - 硬い物：ごま・ナッツなど
  - 食物繊維が多い物：たけのこ・ごぼう・れんこん・小松菜など
  - 弾力がある物：干し椎茸・油揚げ・こんにやく・高野豆腐など
- ② 大きめに切る
  - 一口大に刻むのではなく2〜3口で食べられる大きさに切ると自然と噛む回数が増えます。
- ③ 味付けは薄めに
  - 薄味だと脳はその味をよく知ろうとしてもっと噛むように指令を出すようになります。
- ④ 違う食感の食材を組み合わせる
  - 食材を2種類以上組み合わせると食感が複雑になるので自然とよく噛むようになります。



しめじとまいたけ（電子レンジ加熱）を追加  
噛む回数17回



レトルトカレー単品  
噛む回数8回



冷凍のシーフードミックスを追加  
噛む回数24回



冷凍の根菜ミックスを追加  
噛む回数20回

例：レトルトカレーの食べ方

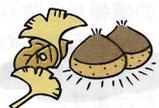
「あなたは何回噛んでいますか？」  
しっかりと噛んで食べることは「肥満予防法」です。  
食べ物が消化・吸収されると、脳へ「満腹」という信号が送られることにより人は満腹と感じ食欲を抑えることができます。しかし、食べ始めてから脳へ「満腹」という信号が届くには20分かかるといわれています。よく噛まずに早食いをする、脳が満腹と感じる前にたくさん量の食事食べてしまうため、体重増加につながります。そこで今回は、「噛ませる」ための料理のポイントを紹介します。

# 栄養管理部です

第23回

### 編集後記

広報紙「けんこう」では、患者さん等にとって役立つ情報をお伝えしていきたいと考えています。今後取り上げてほしい内容がありましたら、お気軽にお寄せください。



岐阜県総合医療センター 広報委員会  
〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号  
TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805  
Eメールアドレス info@gifu-hp.jp  
ホームページアドレス http://www.gifu-hp.jp